

フレッシュ!

新人さんの紹介!

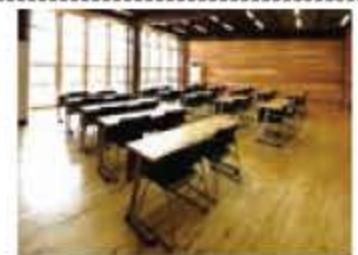
ユニット
緑の村 大井 将太

入社してからの抱負は、あこがれる先輩職員のようなリーダーになることです。いずれかは自分も村人様や職員に頼りにされるリーダーになりたいと思います。

頼れるリーダーになるのは、まだまだ知識と経験が必要だと思います。まわりの方々から学び、いろんな人に支えてもらひながら、今度は自分が支えられるように、一歩ずつ頼れるリーダーへの階段を登っていきたいと思います。

お知らせ

樹の郷では、大・小会議室を地域の皆様に使って頂けるように開放しております。下記の番号にお気軽にお電話ください。
介護でお困りの方への相談窓口を設置しております。
介護についてのわからないことなどはベテラン職員がご相談に応じます。



編集後記

夏真っ只中!
暑い毎日が続いますがお身体変わりはないでしょうか。
水分補給、食事をしっかりと摂って夏を乗り切りましょう
樹の郷は、地域に密着した施設運営を目指してまいります。

樹の郷は、地域防災福祉避難所に指定されています。ご確認よろしくお願いします。

特別養護老人ホーム 樹の郷

併設事業へのお問い合わせ

TEL 0748-63-2900
FAX 0748-63-2902

樹の郷 ショートステイサービス
樹の郷 デイサービスセンター
樹の郷 居宅介護支援センター(ケアプラン)

樹の郷 では
随時ボランティアさん
のご協力を
お願いしております。
ボランティアさん
大募集!!

いつき だよい

樹の年輪「樹の温もり」絆とともに
いつき
さと
樹の郷

行事や利用者
のみなさんとの
ふれあいを発信!!

第15号
2017.8



100歳
のお誕生日



父の日に
職員が
歌いました



社会福祉法人 信楽福祉会

特別養護老人ホーム 樹の郷
樹の郷 ショートステイサービス
樹の郷 デイサービスセンター
樹の郷 居宅介護支援センター(ケアプラン)

〒528-0067 滋賀県甲賀市水口町山3309
TEL 0748-63-2900 FAX 0748-63-2902

ホームページ

信楽福祉会



<http://www.shigaraki-itsuki.com>

いつき だより

いきいき活動記録

第15号
2017.8

太陽の村

太陽の村では、月に数回行事をしています。今回は、外出支援で土山の駿河に行った時の写真と村行事でたこ焼きパーティーをした時の写真

たこ焼きパーティーでは、ゼリー食の方でも食べられるように食事の具材をミキサーにかけて普通食の方と同じように焼いて食べていただいている。

食事の行事の時は、村人さん全員が食事を楽しんで頂けるような工夫を考えています。



樹の郷は、ユニット型特別養護老人ホームになります。各ユニットに名前が付き特色を出すためにユニット単位でも行事に取り組んでいます。

光の村

おやつ作りを手伝っていただいている。

苺狩り

甘くて、おいしい



大地の村

ブルーメの丘にてBBQ

近江富士花園公園



日光浴をしながらのおやつ

泉の村



月の村

父の日イベント

緑の村

アジサイに負けないぐらいたく美しく撮れました

デイサービス

陶器祭りに行ってきました。



居酒屋
気分!

コラム コーナー

介護アドバイザーいつきくんのひとりごと 第3回 認知症について。

こんなことに思い当たれば、認知症？

「認知症」早期発見の目安（これは日常の暮らしの中で、認知症の始まりではないかと思われる言動をまとめたものです。）医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。いくつか思いあたることがあれば、専門家に相談してみることがよいでしょう。その結果、何でもなければ安心ですし、他の病気が見つかれば早期に対応できます。どんな病気でもそうですが、認知症も早く見つけて早く対応すれば、本人にとっても家族にとっても、それ以後の生活は大きく変わります。

例えば・



認知症と間違えられやすい症状には注意が必要です。

単なるもの忘れのほか、気分が落ち込むうつ状態、意識障害（せん妄）、病気治療のためにのんでいるお薬による影響でも似た症状がみられます。これらを認知症と正しく区別することは非常に重要です。

認知症の約半数を占めるアルツハイマー型認知症治療について

アルツハイマー型認知症は、記憶力や判断力の低下により日常生活にさまざまな問題が起きてくる病気です。現在、アルツハイマー型認知症を元の状態に戻す治療法はありません。ですからアルツハイマー型認知症の治療はご本人が快適に暮らせるよう、またご家族や介護者の負担を軽くすることが治療の目的となります。

主な治療には、ご本人の感情や興味を刺激し心の安全をはかる『非薬物療法』と、アルツハイマー型認知症のお薬による『薬物療法』があります。

非薬物療法

ご本人が今出来ること、興味を持っていることを活かし快適な環境づくりを心掛けます。過去に慣れ親しんだ歌や玩具、道具などを利用し、人生を振り返ることでご本人の自己認識の回復をはかる『回想法』など、さまざまな療法があります。ご家族や友人ととのコミュニケーションやデイサービス、グループホームでのおしゃべり、ゲームなども頭と心を活性化するための大切な刺激となります。

認知症の薬物治療

アルツハイマー型認知症により失われた記憶や機能を回復させ、病気を完全に治すお薬はまだありません。症状の進行を遅らせるお薬、不安、妄想、不眠などの症状を抑えるためのお薬による治療が中心となります。進行を遅らせることでご家族と一緒に過ごす時間を長くすることができ、またご家族、介護者の負担を軽くすることにもつながります。

